



③



②



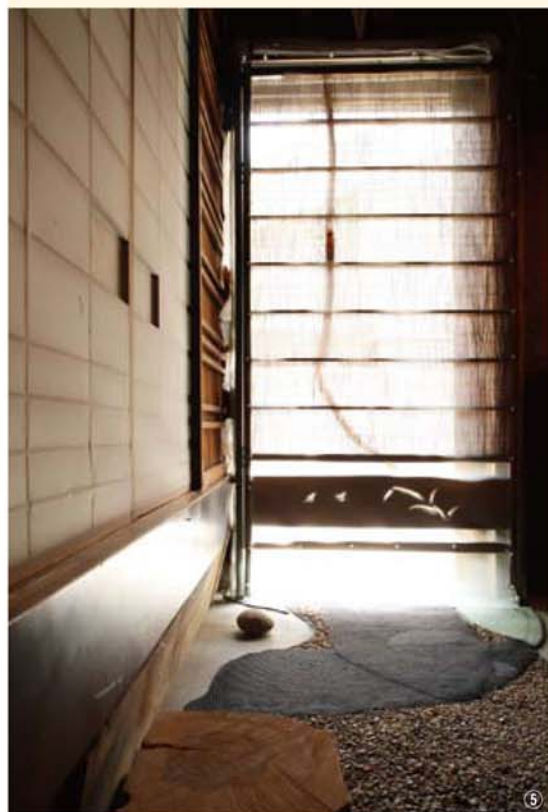
④

② 光が射し込む坪庭には、遊び心たっぷりのオブジェがいっぱい。四季を感じる豊かな時間を楽しめる、とっておきの場所。
③・④ 京町家ならではの火袋が印象的な台所には、おどさんの面影が。昔ながらを大切に、使いやすさも重視。



①

① 大重さんの作った作品がずらりと並び2階。広々とした空間には、明るい日差しが差しこんでいる。



⑤



⑥

⑤ 玄関から続く土間の空間には、大重さんがこだわった砂利が敷き詰められている。楽しみいっぱいの玄関。
⑥ 三軒長屋の京らしい佇まいが印象的。

My Home My Dream vol.3

あこがれのマイホーム。夢を叶える住まいのヒミツ。

この家を斡旋したのは…

「美しい京都の町並みを未来へつなぐ」をコンセプトに、京町家のリノベーション住宅の企画・販売など、京町家の利活用でも実績の高い老舗不動産会社。

株式会社八清 カブシキガイシャ ハチセ

075-341-6321 (代)
〒600-8096 下京区東洞院通高辻上ル高橋町619番地
<http://www.hachise.jp>
●京町家の相談はお気軽に。
●内見会などの案内はHPをチェック!

ステンドグラス作家として活躍していた大重さんは、広いアトリエを持つために、物件を探していた時、京町家に出会った。「一目見て、暮らしのイメージが湧いたので、すぐに決めました」と、笑顔で語る。住み慣れた神戸から京都へ。そして、京町家での生活が始まった。建具の隙間から入る風など、京町家での暮らしは不便なことが多いと思われがちだが、大重さんはそのすべてを楽しんだ。「半年掛けて、自分のイメージを再現していきました」。玄関に敷いた砂利や、隙間風を防ぐ工夫、坪庭の手入れなど、至る所に大重さんのアイデアが詰まっている。「知恵を絞り、考えて直していく毎日は、本当に楽しいんです」。その姿は、家に暮らすのではなく、家と暮らしているようだ。火袋や嫁隠しなど、京町家ならではの文化を大切に、大重さんの家にはいつも多くの客人が訪れる。「ステンドグラス制作は無期限休暇中なんです。だって京都には楽しみがいっぱい。毎日、充実しています」と、明るい笑顔が弾けた。